

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX 049-227-3068 ホームページ <https://hatoyama.info/>

4月・5月の活動予定

■ハトムギ栽培スタート 4月4日（金）



▲ハトムギ栽培チームの打合せ

いよいよ、今年度の栽培作業がスタート。4月4日（金）午前9時より、「ちよっくま」上のハトムギ畑で畝づくりの準備作業を行います。耕作面積は、なんと、去年度の2倍近い広さです。この日の作業は、地主の森さん

が、コンバインで一度耕してくれた畑をもう一度耕し、畝づくり位置の印づけなどを行います。まず、低い畝をつくりながら、通路になる畝と畝の間を、自走式の草刈り機で草刈りできるように60～80cm空けて、端から端へ紐を引っ張って、場所が分かりやすいように印づけをします。

5月2日（金）には種まきを予定。今年は、選別した5000粒の種の直播に初挑戦します。

今年度は、作業や打ち合わせの日程を定例化し、4月から毎月第1金曜日午前9時に集まることにしました。その日に、適時作業を行ったり、作業がない日は新製品開発や試飲会などのミーティングをします。ハトムギ栽培に協力してくれる方や興味がある方、ぜひ、お越しください。

■第2回ツリーハウス会議 4月13日（日）



▲参考イメージ

熊井の森の裾野の「上熊井農産物直売所」の上の「こもれび自然共生ファーム」事業地に、その活動現地事務所としてツリーハウスを建てようという、正月のほら話に興味を持ってくれた人たちが、先日（3月20日）に8人集まりました。話し合いの様子は今号2頁に

載っていますが、その時はまだ中身の話しはあまりできなかったもので、4月13日（日）午前10時～12時、かわせみハウスで再度、話し合います。ツリーハウスづくりに興味のある方、大歓迎。一緒にツリーハウスづくりを楽しみましょう。

■ビオトープ・カメラ設定作業 4月14・21日

4月14日（月）、21日（月）の両日。午前9時より熊井の森のトラスト3号地でアナグマの生態調査のための赤外線カメラの設置を行います。同トラスト地にはアナグ



▲ビオトープ予定休耕田（石場沼の谷津田）

マの巣穴2カ所とその周辺のけもの道のアナグマ利用が確認されていますが、カメラ目視による再確認と利用状況の把握が目的です。カメラはサイサン環境保全基金からの助成で購入します。カメラ入手が間に合わなければ、両日共、石場沼下の休耕田のビオトープづくりをします。

ビオトープ作業の内容は、一年中水が張っている状態を目標に、休耕田の中の背の高い草木の除去、田んぼの周りの畦道の整備などです。作業を手伝っていただける方はご一報ください。確定集合時間・場所をお伝えします。

■サイサン環境保全基金の授与式 4月19日（土）

4月19日の授与式には当団体の活動報告をしてきます。同基金からは2025年度上半期助成（金額148,731円）の内定通知が届いています。助成対象事業は赤外線カメラによるアナグマ生態調査、夏開催の自然観察会、および自然共生ファーム事業に対してで、事業に必要な手押し式エンジン草刈機、電動ミル製粉機の購入費と脱穀機（ハーベスタ）等のレンタル料が含まれます。

4月・5月 活動スケジュール

- | | | | |
|----|--------|--------|-------------|
| 4月 | 4日（金） | 午前9時～ | ハトムギ栽培作業 |
| | 6日（日） | 午前8時～ | 資源回収 |
| | 13日（日） | 午前10時～ | ツリーハウス会議 |
| | 14日（月） | 午前9時～ | ビオトープ作業 |
| | 19日（土） | 午後1時～ | サイサン保全基金授与式 |
| | 20日（日） | 午前9時半～ | 理事会 |
| | | 午後1時半～ | 定例観察会 |
| | 21日（月） | 午前9時～ | ビオトープ作業 |
| | 29日（火） | | 熊井の森通信41号発行 |
| 5月 | 2日（金） | 午前9時～ | ハトムギ栽培作業 |
| | 18日（日） | 午前9時半～ | 会員総会 定例観察会 |
| | 24日（土） | 午前9時～ | エコフェスタ比企 |
| | 25日（日） | | 第75回全国植樹祭参加 |
| | 27日（火） | | 熊井の森通信42号発行 |

3月の活動報告

■地主さんとビオトープ予定地の現地確認

3月20日（春分の日）、熊井の森・石場沼下の谷津田（休耕地）に8時半集合。ビオトープ（休耕地の自然再生）の候補地として使用をお願いをしたところ、地主さん（小鷹日出夫氏）に快諾いただき、なんと、宮城県



▲地主さんと湧水の井戸の所在地を確認



▲かわせみハウスで地主さんから昔の田んぼの様子を聞く

からわざわざ来て現地確認に立ち会っていただけになった次第です。休耕地は永らく池にしてあってコイなども飼っていたそうで、上の方には湧水がありそこからビニールパイプで水を引き込んでいたとのこと。そんなわけで水枯れの心配はひとまずなくなりました。あとは頑張って草刈りとか土のう積みなどの作業をしっかりとやれば、水生生物が戻って来るであろうと期待が持てます。

午後には、かわせみハウスにも来ていただき、改めて昔の池の様子を教えていただいたのですが、その中で、熊井の森の谷津田で育った子どもたちの当時の暮らしぶりが垣間見える興味深いエピソードもあり、「今度じっくり聞かせてください」とお願いしました。

■ツリーハウス＆動画制作提案の意見交換会

3月20日（木）午前10時よりお昼まで、ツリーハウスづくりと熊井の森での活動紹介でもある動画作成の提案を巡って意見交換会がありました。参加者8人。

【ツリーハウス】建設場所:上熊井農産物直売所(ちよつくま)の上の畑上の雑木林の中。6畳1間程度のコテージ。立地条件の関係でツリーハウスとする。目的:里山再生事業の一環。熊井の森の裾野の「こもれび自然共生ファーム」事業の現地事務所づくり。畑仕事・サイクリストの休憩所、自然観察等イベント・調理場利用の受付、物品食品販売、外テーブルで軽食喫茶、簡易宿泊所の用途も。トイレは別途用意する。参加者合意点:建設経費は独立会計。ただし、公共的な目的であることの周知と作業中

の傷害保険対象にしてもらうためには、環境フォーラムの活動に組み入れるよう理事会で検討してほしい。

【動画制作】提案主旨:隈本由夏氏が主催する演劇集団の12月公演の舞台で放映する複数動画(各15分程度)のひとつとして、「熊井の森」での里山再生事業に関わることになった若者たちのショートムービーを制作したい。その撮影ロケ地としての利用許可をいただきたい。それとは別に、鳩山町の魅力や環境フォーラムの活動そのものを紹介する動画制作もできる。意見:活動PR動画制作の意義は分かる。しかし、熊井の森での活動コンセプトがまだ固まっていない現状では難しいのではないかと。参加者合意点:ロケ地使用は問題ないと思う。若い人たちが熊井の森で動画制作すること自体は歓迎。どう支援し応援できるか、傷害保険対象にするとか、結果的に貢献してもらえるSNS発信協力への謝礼という形になるのか、理事会で検討してもらいたい。



▲ツリーハウス案



▲隈本由夏監督画作品「天使のはしご」を観る

■写真学校受講者作品展示のマルシェ写真展



3月21日（金）から23日（日）まで、鳩山町コミュニティ・マルシェ研修室で、写真学校受講者たちの写真展を開催しました。今回は写真展開催のPR不足の感否めませんが、町内外から知人・友人や写真に興味がある方など40名ほどが来場され、草花や

虫、鳥の写真に、また、9歳の子供が撮影した写真や、スマホで撮影した写真にも興味をもたれたようでした。

今回の展示では、ジャンルもテーマも自由とし、カメラや機材を揃えなくても、気軽に写真は楽しめるということを伝える写真展としました。身近な自然を写真に収める楽しみを通して、自然に触れる機会が増えると感じました。（瓜生）

■ちゅくま調理室ではとむぎ焙煎 さあ出陣！



3月7日（金）、はとむぎ健康茶の焙煎とパック詰め作業を上熊井農産物直売所（ちゅくま）の調理室で行いました。フェアトレード珈琲を扱っている横浜の自然食品販売店「珈琲工場&百屋」（<https://coffee-100ya.store.s.jp/>）が、「鳩山産はとむぎ健康茶」を一手販売してくれることになり、急きょ商品を作るようになったためです。

それまでに、加工作業ができる調理室を探したり、坂戸の保健所に行って、万一の食品事故に備えた「食品営業補償共済」の加入手続きをしたり、商品パッケージの中身を至急印刷したりと、事前準備が大変でした。

製品として本格的に出荷する「鳩山産はとむぎ健康茶」づくりに、ちょっと緊張感を持って迎えた当日、作業をしたのはハトムギ栽培チームの女性3人（撮影担当を入れると5人）は、やる気満々。身支度を整え、さあ出陣！まさにそんな感じ。昼の休憩を入れて、9時から17時までの8時間の作業でした。



加工の手順は、さっと水洗いしたハトムギを厚手の鍋や鉄のフライパンで、濃い茶色に色づくまで煎る、それを十分に冷まし、袋詰めして脱気密封していくという作業。

ガスコンロに鍋を並べ、3人でそれぞれの動きを見ながら、手早く必要な作業を進めて、ススッと動く。煎る作業が進

んでいくと、モクモクと煙が部屋に充満してきて、仕上がりが近いのが分かる。煎る工夫、冷ます工夫、袋詰めする工夫と、話し合っって進める作業は楽しい作業でした。

パックは150g入り20袋、100g入り20袋、80g入り15袋を仕上げて、終了。お疲れさまでした。（嵯峨）

「種から袋詰めまで、一から作ったハトムギがお店に並ぶと思うとうれしくなります。初めてでしたが、チームワークよく、予定より早めに終了しました」（河井）



「段取りよく、手際よく、チームワークもバッチリだったと思います。これからは、焙煎の加減がもっと上手になるような工夫と努力かなあ。焦げがでてしまったり、ムラがあったりと、まさに手作り感満載ではありますが、商品としてひとランク上げたいところです（笑）」（大平）



■協生農園2年目の種まき作業

協生農園2年目。3月21日（金）午後2時より種まきをしました。サニーレタス、春菊、プチトマト、キャベツなど野菜種18種と果木。すでにジャガイモとネギは植えてあります。去年は5月末の種まきだったので遅すぎて、雑草の成長に野菜が負けてしまった反省を踏まえ、今年は3月に播くことに。あとは野菜の種たちの力を信じ、彼らが雑草に負けないようにフォローすることが私たちの仕事です。（井田）



犬さって むつくと起きる 蒲公英が(漱石)



▲タンポポ (3月20日 笛吹峠のアンス畑で撮影)

春の野には、スミレやイヌノフグリなどこっそりと顔を出し、季節の訪れを告げてくれる“低姿勢”の植物がたくさんありますが、その中で人の目を最も引くのがタンポポです。ほんわかと静かな雰囲気を作り出すまっ黄色の花は人に癒しを与えてくれます。よく嗅いでみると、花はほんのりと甘い香りがします。やがて白い綿毛になって、一つ一つの種は傘のように風に乗って遠いところで新しい居場所を作ります。

タンポポは誰でも知っているごく普通の植物ですが、薬用価値がとても高いです。花が咲く前に長い根っこごと掘り出して、天日干ししたものは清熱解毒や利尿作用があって、よくお茶に淹れました。健胃薬としても大変重視されました。最近日本で流行っているタンポポコーヒーは、実は焙煎したタンポポ茶のことで、コーヒー豆を一切使わず、ただコーヒーに近い風味を出しているだけです、ノンカフェインということで大人気だそうです。少し工夫すれば全然違う味になるのが面白いですね。「犬さって むつくと起きる 蒲公英が」(夏目漱石)遊んでいるワンちゃんに倒されてもむくりと起き上がるタンポポはなんと逞しいことでしょう。太陽に向かって明るく生きようとするタンポポを目で愛でていると、なんだか元気になってきました。(王 菲)

森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り ㊻

アカガエルの卵が数千個、生き延びるのは数匹



まだ草木の芽吹きも始まらない寒さの残る春先、雨や雪が降るとそれは湿地の水辺でアカガエルの産卵が始まるサイン。先日の降雪でもしやと思い熊井の森の水辺を見に行くとやはりアカガエルの卵塊がありました。土をかぶって茶色くなっているのが少し前に産んだ卵塊で、真っ黒で透き通っているのが今回産んだ卵塊です。卵塊一つに大体1500粒ほど卵があると言われていますが、再び繁殖できるまで成長できるのは1匹か2匹程で、残りは病气やけがなどで死んでしまったり、他のいきもの大切な食料となっています。

写真を見ると密集していて一見数が多いように見えますが、これは産卵に適した場所が少ないことの裏返しでもあり、3ポイントほどの調査場所の合計も100個程度で、これは産卵可能なメスが100匹程ということ。アカガエルはアマガエルなどとは違い指に吸盤がなく護岸などの高い壁などは登れません。そのため普段生活している森の中の地面と産卵場所が行き来可能でかつ、初夏に上陸する子ガエルが熱せられた舗装に触れて焼け死なない必要があります。アカガエルは野生動物の大切な食料ですので、アカガエルが減ってしまうことはそのまま森の生き物の多様性の減少に繋がってしまいます。これからも春先にはたくさんの卵塊を観察し続けたいものです。(愛場 結偉)

はとやま環境フォーラム会員募集中!

★2025年度会費(3,000円)

■ゆうちょ銀行 店名 〇三八 店番038 普通預金
口座番号 96656981
口座名義 トビハヤマサキョウフォーラム

熊井の森トラスト基金へのご支援を

★1口 5000円から

<振替口座> ■ゆうちょ銀行

記号番号 00210-4-143207
加入者名 熊井の森トラスト基金

<普通口座> ■ゆうちょ銀行 支店 〇三八

口座番号 9472664
口座名義 クマイノモリトラストキキン
(熊井の森トラスト基金)

定例観察会のご案内

開催日 : 毎月第3日曜日
集合場所 : かわせみハウス前
集合時間 : 午後1時半
(終わりは午後3時過ぎごろ)



はとやま環境フォーラムは熊井の森のより良い在り方を探るため、月に一度、熊井の森に入り、森や周辺の変化を楽しみながら、その時々に出会えた生き物を観察記録する定例観察会を行っています。

ご興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。
鳩山ニュータウンかわせみハウス前に午後1時半に待ち合せて、相乗りで熊井の森に向かい、帰りも一緒にできます。